

## 森林組合の新鋭作業班のチャレンジ

気仙地方森林組合が素材生産の生産性を向上させるために、新たに編成した高性能機械作業班が列状間伐間伐に挑戦しました。この作業班は、伐採から機械操作まで全てをこなす20才代2名、40才代1名の3人で構成されています。

これまで森林組合は、高性能機械を使用する場合でも、定性間伐による短幹集材のシステムによる生産間伐を実施してきました。

今回の列状間伐は、1伐2残の方法で、写真を見て頂ければ分かる通り、樹冠長率が著しく低い未整備森林への実施です。

昨年度から振興局では、作業工程の見直しのため、現場訪問等を行い支援してきました。今回、列状間伐に挑戦したことで、全幹集材への「チャレンジ」の成果を確認することができました。

しかし、より一層の生産性向上のためには、現場条件にマッチする他の方法にも挑戦する必要があります。

今後、振興局では、簡易に生産性を把握する方法について指導する予定です。



伐採列と残存木の状況

